

# 赤穂市女性交流センターだより

第25号 2023. 4

女性交流センターでは、女性の様々な問題(悩み)に関する相談を実施しています。  
(場所:市民会館 3階)

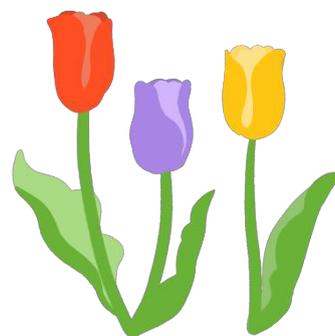
## 女性問題相談

毎週火曜日から金曜日

午後1時から午後4時(祝日・年末年始除く)

電話 または 面接での相談

予約は必要ありません



## 女性専門相談 (専門カウンセラー対応)

毎月第3金曜日

午後1時から午後4時(一人50分)

面接相談で予約が必要です。託児も行います。

4月21日

5月19日

6月16日

7月21日

8月18日

9月15日

10月20日

11月17日

12月15日

1月19日

2月16日

3月15日

赤穂市女性交流センターの情報は、  
下記の QR コードよりご覧いただけ  
ます。赤穂市女性交流  
センターだよりも掲載  
していますので、ぜひ  
ご覧ください☆



お問い合わせ・申し込み

赤穂市役所 市民対話課 43-6812

赤穂市女性交流センター 43-7800

FAX 43-6810 MAIL [jinken@city.ako.lg.jp](mailto:jinken@city.ako.lg.jp)

女性交流センターには、男女共同参画等に関する図書・行政資料をそろえ、誰でも自由に閲覧できる情報図書コーナーがあり、本の貸し出しも行っています。また、活動や交流の場として利用できる会議室がありますので、ぜひご利用下さい。



## おすすめの一冊

### 定年後夫婦のリアル 大江秀樹／大江加代 日本実業出版社刊

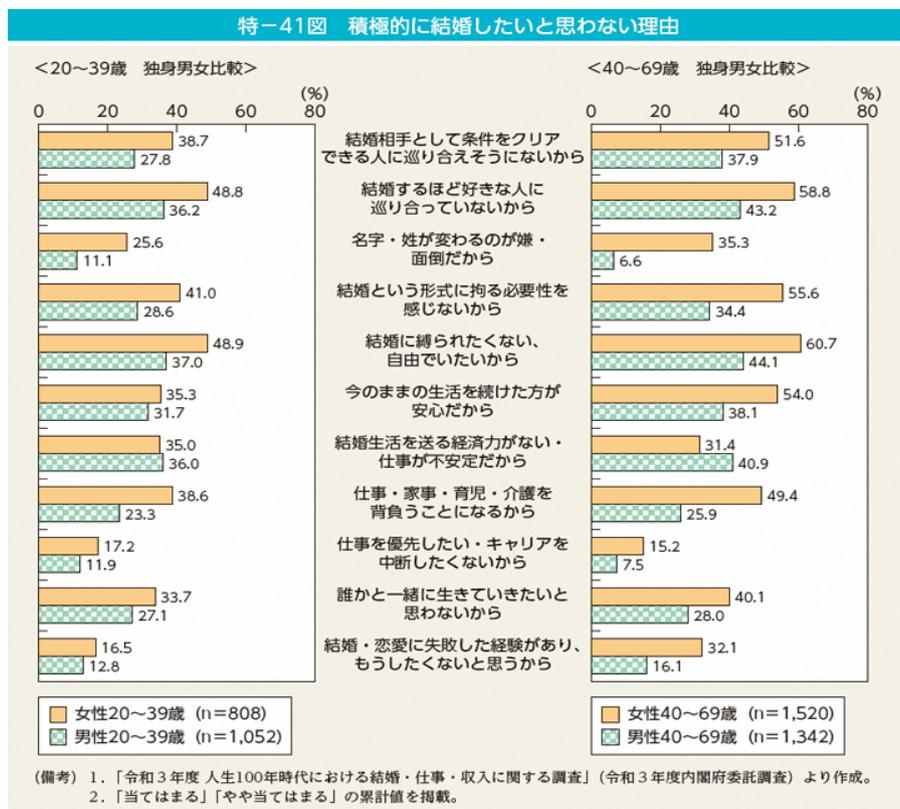
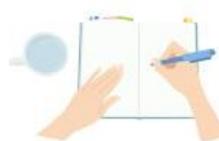


夫婦ともに元証券会社勤務で、現在は経済コラムニストの夫と、確定拠出年金アナリストの妻という2人が実体験に基づいて、お金、仕事から健康、コミュニケーションに至るまで、定年後の共働き夫婦が向き合うことになる不安要素の解決策を解説。

「共働き夫婦の妻が知っておくべき年金の繰り下げ受給の注意点」「家事シェアがスムーズにいかない夫婦の特徴と対策」「濡れ落ち葉のような夫をふやしてしまう意外な犯人」「遺言書を作ってわかったことと押さえておきたい3つの誤解」「定年後の夫婦間コミュニケーションに必要な戦略」などなど、自らが当事者で、かつ数多くの高齢者を見続けた大江夫妻ならではのユニークな視点がいっぱい。

## 『令和4年版男女共同参画白書(内閣府)』より

下の図は「積極的に結婚したいと思わない理由」を表しています。



男女間で差があり、女性の方が高いものは、「仕事・家事・育児・介護を背負うことになるから」、「名字・姓が変わるのが嫌・面倒だから」などとなり、男性の方が高いものは、「結婚生活を送る経済力がない・仕事が不安定だから」となっています。

この項目間差は、20～30代よりも40～60代と、年代が上がる方が大きくなっています。独身女性がためらう背景には、社会や周囲、また自分自身のアンコンシャス・バイアス(無意識の偏ったモノの見方)があるほか、仕事・家事・育児・介護のバランスを取ることに苦勞している既婚女性の姿を見て判断している可能性もあります。

令和4年度版男女共同参画白書は男女共同参画局のHPからも見る事ができます。